



たわらもとウォッチング

まちのできごとを紹介します



田原本町農業祭

ずらりと並んだ町産農産物などを求め賑わう



▲生産者おすすめ。新鮮な大根を買うお客さん



▲シクラメンやパンジーなど季節の花が並ぶ



▲「しきしき焼き」に興味津々

保健センターで11月26日から27日にかけて、「田原本町農業祭」が開催されました。このイベントは、町産の農産物などを販売・PRし、地産地消の拡大と農業の振興を目的して催されたもので、今年で2回目です。
会場には、地元の新鮮な野菜、花きなどの販売や数々の模擬店の出店があり、大勢の人が訪れました。訪れた人たちは、生産者から商品の特長を直接聞きながら野菜を購入したり、模擬店で買ったうどんやそば・ドーナツなど、さまざまな食べ物を味わったりして楽しんでいました。
今回は、商工会も参加して町産の小

▼ほくほくの味間いもが入った温かい豚汁で体も温まる



▲子どもたちに大人気。ももたん
と川西町特産ネギ「結崎ネブカ」
のPRに来たネッピー

麦粉となすを使った創作B級グルメ「しきしき焼き」の販売もあり、好評を集めました。また、ポン菓子や味間特産のサトイモである味間いもが入った豚汁などが無料で振る舞われ、たくさんの方に喜ばれました。

11
26~

地域での助け合いが豊かな暮らしに

高齢社会に向けた「地域づくり」講演会

11
22

11月22日、青垣生涯学習センターの弥生の里ホールで「高齢社会に向けた「地域づくり」講演会」が行われました。「ご近所パワーで助け合い起こし」を演題に、住民流福祉総合研究所所長の木原孝久さんは、地域で要支援者などの情報を把握・共有化する支え合いマップを作成して支え合いに取り組む事例を紹介。参加者約170人に、住み慣れた地域で安心して豊かに生きるためには地域の助け合いの関係が必要だと語りました。



▲支え合いマップの説明をする木原さん



▲片倉教育長から賞状を受け取る

北小学校の「子どもを犯罪から守る会」が文部科学大臣賞「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受賞しました。これは、子どもの安心・安全な学校教育活動に貢献する優れた活動を行う団体に授与されるもの。12月12日、北小学校で伝達式が行われ、片倉教育長から村井偉夫会長に賞状が手渡されました。村井さんは、「長年の取り組みが実を結びました。ありがとうございます」と述べた後、全国健康・安全教育研究大会への参加報告をしました。

子どもの安心・安全を守る活動が評価
学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞

12 / 12



▲寺田町長に受賞の喜びを伝える

山中悧二郎さんが、自治会の代表者として通算20年以上在職し、地域的な共同活動を通じて良好な地域社会の維持・形成に顕著な功績があったと認められ、「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞しました。山中さんは、11月28日に寺田町長を訪問し、受賞の報告をしました。訪問後、山中さんは「町長から推薦があり、また地域の方々と家族の支えがあったからこそ受賞できました」と受賞の喜びを話してくれました。

自治会の代表者として20年以上の功績が讃えられ
地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞

11 / 28



▲ボールを蹴ってターゲットを崩そう

11月23日、「第36回田原本子どもカーニバル」が中央体育館で開催され、約310人の小学生が参加しました。今年、「絆」をテーマに、テレビでおなじみの番組「VS嵐」のゲームを子ども会連絡協議会のリーダーのお兄さん・お姉さんの指導のもと、グループに分かれて、丸一日かけて行いました。子どもたちは、チームワークを生かしてさまざまなゲームに挑戦し、友情の「絆」を深めることができました。

皆の友情の絆を深めました
第36回田原本子どもカーニバル

11 / 23



▲田原本おはなし会のお話に夢中

11月17日～19日に「たわらもと通学合宿事業」が実施されました。これは、子どもたちが、家庭を離れて寝食をともにしながら学校へ通う取り組みで、本年度は室町三丁目自治会の協力を得て、天理教磯城分教会で行われました。21人の子どもたちが参加し、皆で食事を作り、田原本おはなし会のお話や学生ボランティアによるゲームなど、満載のプログラムで楽しく活動していました。また、学年の枠を超えて友達がたくさんできてうれしそうでした。

学年を超えた友達と楽しく共同生活
たわらもと通学合宿事業

11 / 17～